

# マヤ文明と縄文時代



15th Anniversary (2009-24)

ナカノシマ大学2024年4月講座

国立国際美術館「特別展・古代メキシコ」開催記念

# こんなに似ていた！



みなさまのご参加、  
お待ちしております。

## 4/12(金) 18:00~19:30

会場 大阪府立中之島図書館 (3階多目的スペース) 受講料 2,000円 定員 60名

講師 譽田亜紀子 (こんだ・あきこ / 文筆家・古代研究者)

主催 大阪府立中之島図書館 (指定管理者: ShoPro・長谷工・TRC共同事業体)  
企画協力 ナカノシマ大学事務局 (株式会社140B) 協力 国立国際美術館

「古代を知る、探索する」ことの面白さを、「考古学者」の視点ではなく身近なレベルで提案し、紹介したのが譽田亜紀子さん。縄文、弥生、古墳……著書は次々と人気を呼び、「古代ファン」の裾野を広げてきました。その譽田さんが次に取り込んだテーマは、遠いメキシコで栄えた「マヤ文明」。折しも、全国を巡回する特別展「古代メキシコ」が最終会場の大阪で開催されています。「マヤと縄文は似ている!」というテーマでお話をされるのは譽田さんならではの、2年前、満員の受講者を感動させたパッション全開の講義をぜひ、ご体感あれ。

〈講師からのメッセージ〉わたしは縄文好き、土偶好きで知られておりますが、実は、マヤ文明に興味を持ったのは、縄文時代にハマるずっと前のことでした。「なんか、すごい人たちがいるんだな」程度に感じていたマヤ文明でしたが、縄文時代を深く知ることによって2つの世界がわたしの中でピピッと繋がり、「縄文時代とマヤ文明には共通点がある!」と思うに至ったのです。そうして生まれたのが拙著『知られざるマヤ文明ライフ』(誠文堂新光社刊)でした。

今回の講座では「マヤ文明の基礎知識」をざっくりと解説いたしますが、これを聞けば特別展「古代メキシコ～マヤ、アステカ、テオティワカン」が、何倍も楽しめること請け合いです。またマヤ文明と縄文時代との共通点や相違点など、他では聞けないお話もさせていただきます!

こんだ・あきこ

岐阜県生まれ。京都女子大学卒業。奈良県橿原市の観音寺本馬遺跡の土偶との出会いをきっかけに、各地の博物館、遺跡を訪ね歩き、土偶、そして縄文時代の研究を重ねる。主な著書に『はじめての土偶』(世界文化社)、『ときめく縄文図鑑』(山と溪谷社)、『土偶のリアル』(山川出版社)、『縄文のヒミツ』(小学館)、『折る土偶ちゃん』(朝日出版社)、『知られざる縄文ライフ』『～弥生ライフ』『～古墳ライフ』『～マヤ文明ライフ』(誠文堂新光社)など。最新刊は4月上旬発売の『こんだあきこの わたしの偏愛遺跡旅』(新泉社)



※当日は会場で、『知られざるマヤ文明ライフ』と『こんだあきこの わたしの偏愛遺跡旅』を販売します。

→受講申込は、こちらのQRコードから  
ナカノシマ大学のWEBで受付します。

※今回は5月17日(金)18時……「甘く苦く、そして深い!! OSAKA喫茶店史」

講師=田中慶一(文筆家・大阪 喫茶店クロニクル)著者、冊子『甘苦一滴』編集発行人)

